

Keep on Smiling

学校だより 第3号

県立はまなす特別支援学校
令和3年12月24日(金)

編集：鈴木

～キープ オン スマイリング～

回覧

「人とのかかわりや仲間との絆を深めた2学期」

教頭 小林 浩子

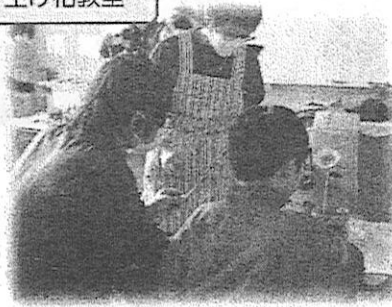
第5波の心配で始まった2学期でしたが、10月には社会全体の感染状況が落ち着いて、様々な学校行事を実施することができました。高等部3年生、中学部3年生、小学部6年生、Bコースとすべての修学旅行を実施することができました。マラソン記録会は残念ながら雨で中止でしたが、Bコース駅伝大会やはまなす作品展、今年度初チャレンジした小学部の生け花教室や中学部の環境学習や理科大好き子を育てる出前授業、高等部の出前選挙やSOSの出し方授業等、2学期は外部講師を招いた授業もたくさん行われました。11月11日には特別支援学校音楽授業研究会を開催しました。「一人一人が自分に合った方法で表現する授業づくり～他者とのかかわりの視点から～」を研究主題として、オンラインで多くの方に当校の音楽授業実践を提案し、子どもたちや職員の頑張りに大変評価をいただきました。

また、校内では1学期に整備されたICT機器の活用が非常に進み、毎日のように、iPadを授業で活用しているクラスがほとんどです。リモートで近隣の小中学校と交流授業を実施したり、欠席した児童生徒と教室をつないで授業をしたり、AコースとBコースの教室をつないで合同授業をしたり、離れていても一緒に活動する機会をつくることもできました。

まだまだ感染症対策に予断を許さない状況下で、工夫して校内外のたくさんの人たちとつながり、みんなで一緒に力を伸ばした2学期。様々な活動を通して、かかわりや絆が深まりました。ご家庭へのiPad持ち帰りにより、学校の様子や子どもたちの活用の様子をお伝えする機会もできました。冬休みは、ぜひ、お家の方と有意義な時間を過ごし、新年を迎えてほしいです。「普通の人々は時間をつぶすことに心を用い、才能ある人は時間を利用することに心を用いる。」という言葉があります。せっかくの長いお休みにしかできないことに挑戦し、また、元気な笑顔に会えることを楽しみにしています。保護者の皆様、地域の皆様、後援会の皆様、学校評議員の皆様、関係機関の皆様等、2学期も多くの方々から学校の活動を支えていただき、ありがとうございました。よいお年をお迎えください。

小A生け花教室

子どもたちの様子をP刊



中A出前授業

～子どもたち、職員にiPadの活用が広がっています!～



中庭で撮影



手順の手がかりに

中Aとリモート交流



一人一人使い方を練習

高等部 Aコース 修学旅行

スローガン:「見て★学んで★楽しんで」～楽しい思い出をたくさんつくろう～

11月18日(木)～19日(金)の1泊2日の日程で、修学旅行に行ってきました。1日目は道の駅ただで笹団子作りをして、秋葉硝子でガラス皿の模様付け体験をしました。宿泊地の湯田上温泉ではゆったりと温泉につかり、ロビーで昭和レトロ気分を味わいました。2日目は新津鉄道資料館を見学し、その後新潟せんべい王国でばかうけの味付けを体験しました。新潟を思い切り楽しんだ2日間となりました。

修学旅行を通して、社会のルールやマナーを守って行動することの大切さを学び、仲間同士の絆を今まで以上に深めることができました。この経験を今後の生活に生かしていきたいと思います。



防災食体験

11月25日(木)に防災食体験を実施しました。学校では炊き込みご飯やクラッカーなど様々な防災食を備えていますが、今回はライスクッキーを試食しました。実際に食べることで「こんな味がするんだ」「おいしい!」と子どもたち同士で感想を伝えあいました。



第二回避難訓練

12月3日(金)に第二回避難訓練を実施しました。感染症対策を検討した上で、訓練を実施しました。今回は地震からの原子力災害を想定した訓練となりました。事前指導では、地震や原子力災害が起きたときの身の守り方を学習し、自分の命を守ることは大切なことだと確認しました。訓練当日、子どもたちは放送や教師の指示をよく聞いて、落ち着いて避難することができました。事後指導では、「災害はいつ発生するか分からないが、落ち着いて行動する」ことを子どもたちと改めて確認しました。

